

成果指標				
成果指標	執行率(%)=(需用費等)決算額÷予算額			
指標設定の考え方	支出削減でコスト縮減につながる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	0.9	0.9	0	0
実 績	0.946	0.758	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市道の適正な維持管理を行うために必要な事務経費としての消耗品は買いだめをしない。市道街路灯の修繕は交通事故防止の観点から灯具切れは速やかに修繕を行う必要があり必要経費を削減することはできない。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市道街路灯の灯具切れなど修繕に伴う費用は道路維持費3470で予算計上、執行管理を行うべきである。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題